

教 育 経 済 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成29年9月25日(月曜日)
午前9時30分～午前10時18分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 秋 枝 秀 稔 委 員 長 杉 山 武 志 副 委 員 長
 徳 並 伍 朗 委 員 秋 山 哲 朗 委 員
 下 井 克 己 委 員 岩 本 明 央 委 員
 岡 山 隆 委 員 荒 山 光 広 議 長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員
 綿 谷 敦 朗 議 会 事 務 局 長 大 塚 享 議 会 事 務 局 長 補 佐
 篠 田 真 理 議 会 事 務 局 主 任
6. 説明のため出席した者の職氏名
 篠 田 洋 司 副 市 長 石 田 淳 司 市 長 公 室 長
 西 田 良 平 観 光 商 工 部 長 末 岡 竜 夫 観 光 商 工 部 次 長
 河 野 哲 広 観 光 総 務 課 主 幹 荒 川 逸 男 観 光 総 務 課 長
 早 田 忍 観 光 振 興 課 長
7. 会議の次第は次のとおりである。

午前9時30分開会

○委員長（秋枝秀稔君） おはようございます。ただいまより、教育経済委員会を開会いたします。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました市長提出議案1件につきまして、審査いたしますので、御協力をよろしくお願いいたします。

議長、報告等ありますか。

○議長（荒山光広君） ありません。

○委員長（秋枝秀稔君） それでは、これより審査を始めます。

なお、質疑につきましては簡潔明瞭に、また議題外の発言にならないよう御配慮をよろしくお願いいたします。

それでは、議案第78号平成28年度美祢市観光事業特別会計決算の認定についてを議題といたします。執行部より、説明を求めます。荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） それでは、議案第78号平成28年度美祢市観光事業特別会計の決算について御説明をいたします。

最初に、主要施策成果報告書の22ページをお開きください。

観光事業特別会計の平成28年度決算は、歳入総額7億3,467万6,000円、歳出総額5億6,893万円で、歳入歳出差引額1億6,574万6,000円となります。

なお、歳入歳出差引額から繰越明許費1,330万7,000円を除いた単年度収支は、1億5,243万9,000円の黒字となります。

それでは、歳入につきまして、主なものを御説明いたします。決算書の144、145ページをごらんください。

1款観光収入について、総額は5億2,809万1,389円でございます。秋芳洞、大正洞、景清洞の観覧料が5億1,250万2,709円でございます。養鱒場収入が1,558万8,680円でございます。

2款使用料及び手数料については、総額が2,243万6,599円であります。この使用料の主なものは、広谷駐車場使用料の1,833万4,000円でございます。養鱒場使用料は217万7,400円でございます。

続きまして、146、147ページをごらんください。

3款県支出金については、総額133万4,640円であります。総務管理費委託

金114万2,640円で、主なものは、秋吉台等自然公園の維持管理業務委託金でございます。

5款繰入金については、一般会計繰入金5,960万3,055円であります。これは、一般会計からの長期借入金と、秋吉台リフレッシュパークのトロン人工温泉に係る市民福祉分の補填分と秋芳洞等観光鍾乳洞に係る市主催事業等による観覧料減免分の補填分でございます。

6款繰入金については、総額1億1,140万5,654円でございます。

7款諸収入につきましては、総額1,155万7,908円でございます。

148、149ページをごらんください。

この雑入の主なものにつきましては、秋芳洞の冒険コースの利用料でございます。

続きまして、歳出の主なものを御説明いたします。150、151ページをお開きください。

1款観光総務費について、歳出総額は4億6,596万2,968円でございます。

内訳につきましては、1項総務管理費が3億5,644万9,821円で、そのうち、1目一般管理費が2億9,070万2,974円でございます。主なものは11需用費956万1,526円の支出をしております。この主なものは光熱水費と修繕料でございます。

また、311万4,474円の不用額となっておりますが、これは急を要する修繕に対応するためのものでございます。

12役務費1,469万625円の支出をしております。主なものは、観光幹旋手数料でございます。

また、265万3,375円の不用額となっております。これの主なものは、観光幹旋手数料の不用額で、団体観光客等の幹旋手数料の支出の減によるものでございます。

13委託料8,190万6,503円の支出をしております。主なものは、指定管理委託料と秋吉台観光交流センターの総合案内に係る委託料が主な支出です。

また、1,296万4,497円の不用額となっております。これの主なものは、リフレッシュパークのトロン温泉の燃料費におきまして、燃料の単価が安く済んだことと、施設改修——機械の施設改修をしたことによりまして、想定よりも燃料費がかからなかったものでございます。

14 使用料及び賃借料 1, 335万9, 160円の支出をしております。これの主なものは、借地料でございます。

15 工事請負費 1, 438万4, 520円の支出をしております。これの主なものは、秋吉台家族旅行村及びトロン温泉の施設改修であります。

また、127万6, 480円の不用額となっております。これの主なものは、落札減によるものでございます。

18 備品購入費 351万4, 955円の支出をしております。これの主なものは、庁用車の購入とリフレッシュパークの深井戸用水中ポンプでございます。

また、276万7, 045円の不用額となっております。これの主なものは、落札減によるものでございます。

25 積立金 1億円の支出をしております。これは、観光事業運営基金に積み立てたものでございます。

27 公課費 2, 161万9, 200円の支出をしております。これの主なものは、消費税及び地方消費税でございます。

また、976万9, 800円の不用額となっております。これは、消費税の支出に備える余剰分を見込んでいたものでございますが、入洞者数の減で、洞収入が減収したことにより、納税額が減ったためでございます。

28 繰出金 480万2, 640円でございます。これは、環境衛生事業特別会計の繰出金であります。

次に、2目施設管理費 6, 574万6, 847円でございます。主なものは、11 需用費 362万9, 656円の支出をしております。これの主なものは、消耗品費と修繕料でございます。

また、111万7, 344円の不用額となっております。これは、修繕料において故障等急な支出に備えたものでございます。

13 委託料 2, 016万3, 488円の支出をしております。これの主なものは、清掃環境施設保守の委託料でございます。

また、564万9, 512円の不用額となっております。これの主なものは、環境整備委託料において委託業者の不足により、全てができなかったためでございますが、次年度から環境整備推進のため、業者の確保に努めたいと考えております。

15 工事請負費は 4, 154万1, 720円の支出をしております。これは、秋吉

台観光交流センターと秋吉台案内所便所の改修工事費でございます。

また、653万1,720円の不用額となっております。これは、落札減によるものでございます。

続きまして、152、153ページをごらんください。

2項業務管理費1億951万3,147円でございます。内訳は、1目秋芳洞業務費が6,507万1,024円でございます。主な支出につきましては、4共済費618万192円の支出をしております。これは、秋芳洞案内業務委託に係るアテンダントの共済費でございます。

また、231万6,808円の不用額となっております。これは、アテンダントの減員によるものであり、次年度から案内業務に支障を来さぬよう、募集、育成に努めてまいります。

11需用費443万9,353円の支出をしております。主なものは、光熱水費でございます。

13委託料は4,716万9,944円の支出をしております。これの主なものは、秋芳洞案内業務委託料でございます。

また、807万8,056円の不用額となっております。これは、秋芳洞案内業務等の委託料の減によるものでございます。

14使用料及び賃借料611万7,519円を支出しております。これの主なものは、施設機器の借上料でございます。

続きまして、2目大正洞、景清洞業務費は2,375万8,552円でございます。主な支出につきましては、13委託料2,195万9,524円を支出しております。これの主なものは、窓口業務に係る業務委託料と景清洞の橋と防護ネットの測量設計委託料でございます。

3目養鱒場業務につきましては、支出済額2,068万3,571円でございます。主な支出ですが、7賃金200万3,985円を支出しております。これは、臨時雇用職員と繁忙期のアルバイトの賃金です。

なお、不用額171万4,015円につきましては、3名の募集をいたしましたけれども、2名の雇用になったため、次年度も業務推進のため、また積極的に募集をしたいと思っております。

11需用費672万8,288円を支出しております。主なものは飼育料で、ニジ

マス飼育用のえさ代でございます。

続きまして、154、155ページをごらんください。

13委託料221万8,070円を支出しております。これは、養鱒場の業務委託料です。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） 早田観光振興課長。

○観光振興課長（早田 忍君） 続きまして、2款観光振興費・1項振興管理費・1目一般管理費について、歳出総額9,467万6,670円でございます。

資料につきましては、154、155ページをお開きください。

主な支出につきまして、御説明いたします。9節旅費として、381万838円を支出しており、不用額が139万8,162円となっています。これの主なものは、外国人観光客受入体制充実事業のうち、旅費となっていますが、海外の経済事情により通貨レートが大きく変動したとき、対応するためのものがございます。

次に、11節需用費につきましては、97万2,512円を支出しております。

また、不用額が428万488円となっており、主なものは、燃料費となっています。これの主なものは、域内交通充実事業で閑散期対策として、秋芳洞入洞者にガソリンの優待券を配付することで、入洞の促進を計画していたところですが、平成27年度の事業、平成27年度当初計上した結果、効果が薄い見込みとなり、急遽この取り組みを取りやめることとしたため、燃料費364万円が不用となったものがございます。

次に、13節委託料につきましては、1,916万6,249円を支出しており、これの主なものは、おもてなし人材育成事業及び体験プログラム開発事業並びに外国人観光客受入体制充実事業となっています。

また、138万751円の不用額となっています。これは、外国人観光客受入体制充実事業のうち、台湾事務所の事務所業務及び通訳補助委託料となっていますが、これも海外の経済事情により、通貨レートが大きく変動したとき対応するためのものがございます。

次に、使用料及び賃借料につきましては、194万6,613円を支出しております。これの主なものは、台湾交流事務所の借上料と、美祢まるごと館の土地借上料でございます。

次に、19節負担金補助及び交付金につきましては、4,356万8,982円を支出しております。これの主なもの、美祢市観光協会の観光プロモーション事業補助金、秋吉台観光まつり補助金、カルストタクシー運行補助金、美祢国際観光交流推進協議会負担金であります。

また、不用額が483万7,018円が生じていますが、これは観光プロモーション事業において、美祢市観光協会が企画したツアーの見直しや、各種団体への補助金の精算により戻入されたものでございます。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） 荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） 3款公債費につきまして、829万104円を支出しております。これは、投資的建設改良費として、平成27年度に8,250万円を一般会計から借り入れたものの償還金でございます。

以上、観光事業特別会計決算について、説明を終わらせていただきます。

○委員長（秋枝秀稔君） 説明が終わりました。それでは、本案に対する質疑はございませんか。はい、岩本委員。

○委員（岩本明央君） 二、三お尋ねいたします。観光会計は、皆様方の多大な御尽力なり努力されまして、28年度には約1億5,000万円という大きな黒字を出しておられます。大変素晴らしいことと思っております。それプラス、積立金が1億円というふうなことで、また、大変結構と思います。これ、当初予算の関係もありますが、一般会計から6,000万円、約6,000万円入っております、差引き1億9,000万円ぐらいの実質的な黒字になったように思いますが、その中で特に、不用額が大変多いように感じました。で、大変私は結構であると思います。節約をし、また将来に向けての見通しもいろいろあったかと思いますが、その辺の不用額、全般的に委託料が割と目立って、不用額が多いんですが、その辺のことはどのような、結果的な考えをお持ちでしょうか。とりあえず1件ほどお尋ねいたします。

○委員長（秋枝秀稔君） はい、荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） 特に委託料の不用額が多いことにつきましては、業者をお願いすること——業者の手配が全般的に、それが回らなかったところもございまして、業者手配についてもっと探して、全部の面積等ができるように努めていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（秋枝秀稔君） はい、岩本委員。

○委員（岩本明央君） 将来に向けて、業者の方のいろんな関係もありましようから、その辺は十分、先を見越したかたちでの委託契約をお願いしたいと思います。

それから、次に公債費、ページ数で154、155、公債費が約830万ぐらい、借金を返しておられます。今後のどのような計画なり、また、実質的にもう借金が公債費残高どのぐらいあるかということも、もしわかれば教えていただけたらと思っております。

○委員長（秋枝秀稔君） 荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） 公債費の償還の件についてと思えますけれども、現在、残高が7,428万7,000円の起債の残高となっております、各10年償還となっておりますのでございます。

以上でございます。

○委員長（秋枝秀稔君） そのほか質疑ございませんか。はい、杉山副委員長。

○副委員長（杉山武志君） 濟いませぬ、2点ほどお尋ねしたいと思います。

1点はですね、人件費、今アテンダントさんを含む人件費等の関係なんですが。観光地よく行きますと、その説明なんかをイヤホン、トランシーバーといいますか、そういったものを貸し出して、人件費を極力抑えてされておる観光地等も見受けられます。その辺が今後、秋芳洞とかですね、導入をすることによって抑えることができないものかというのが1点と。

もう1点は、借地負担金ですね、これが結構な金額になっておりまして、この辺に対して、今後何らか措置をされる思いがあるのかどうかという辺をお尋ねしたいと思うんですが。

○委員長（秋枝秀稔君） 西田観光商工部長。

○観光商工部長（西田良平君） ただいまの杉山委員の御質問にお答えいたします。

まず、1点目の人件費でございます。人件費、いわゆる観光特会での支出部分をいかに削減していくか、そこにつきましては、やはり運営上、人件費をいかに効率的に支出、あるいは削減するというのが大きなポイントではなからうかというふうに思っております。

ただいま、議員のほうから御提案をいただきました。各種案内等につきまして、

現在も秋芳洞内におきましては、ある程度、案内システムといいますか、4カ国語で説明等も行っているというところもございますが、さらにその辺も充実させていくということになればですね、ある程度の投資額ということも関わってくると思います。

その辺も踏まえまして、まず、今までの削減ってところが、職員さんをアテンドさんというところを、充実させるというところでの削減を行ってきましたので、それに加えて、今の御提案も今後の計画として、ある程度参考にさせていただき、検討させていただければというふうに思っております。

それから2点目でございますが、借地の問題でございます。

これにつきましては、今すぐどうこうといいますか、なかなか今までの経緯等もございますので、今の段階で方向性としてこういう方向にするという明確なお答えは、ちょっとしかねるところがございます。今後の課題としてですね、承っておきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） そのほか質疑ございませんか。はい、下井委員。

○委員（下井克己君） 153ページの養鱒場業務の需用費のところなんですが、先ほど、えさ代等と言われたんですかね。えさ代だけじゃないと思います。ほかに……というのが、28年度予算のえさ代450万というふうになっておりますので、不用額がえさ代と言われたただけだったのか、ちょっとその説明、もう1回お願いできればと思います。

○委員長（秋枝秀稔君） 荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） 養鱒場の事業費672万8,288円で、主なものに飼料料、えさ代が449万5,846円かかっております。

以上でございます（発言する者あり）449万5,846円でございます。（発言する者あり）いえ、不用額は賃金のほうの……。 （発言する者あり）

○委員長（秋枝秀稔君） 質疑ございませんか。岡山委員、どうぞ。

○委員（岡山 隆君） 観光事業特別会計におきましては、合併当初は累積赤字が15億6,000万円、これを抱えての出発ということで、28年度決算においては積み立てが1億もできる。こういった状況になったということで、3年前から単年度収支黒字ということで積み立ても、少し、2億か3億ぐらい近くなったんじゃない

か、このように思っております。

それですね、まず、平成28年度の決算額につきましては、5億2,809万1,000ということで、27年度に比べましてですね、3,540万9,000円、これが減になってますね。それとそれにあわせて、観光収入は減りましたが、逆に歳出の面におきましてはですね、観光総務費、決算については4億6,596万3,000円ということで、27年度の前年比に比べて、この観光総務費が6,427万1,000円ということで逆にふえとるわけですね。

普通、そういったことになれば、逆にこの観光総務費も下がっていくような方向でないといけないのが逆にふえております。こういったところをちょっと精査してみると、そういった要因、原因は何であったかということが、もし説明できましたらお願いしたいと思います。

○委員長（秋枝秀稔君） はい、荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） 観光総務費の支出がふえた原因でございますが、積立金が1億円ありますので、そちらの支出でふえているかたちになっております。

（発言する者あり）積立金、はい。

○委員長（秋枝秀稔君） 岡山委員、どうぞ。

○委員（岡山 隆君） 併せてですね、3年前ぐらいから単年度収支が、たしか黒字になったと思いますけど、現在における積立金がいかにほどなのか、もしわかればその辺を説明願いたい。

それとですね、観光——秋芳洞のこの入洞者数が、平成3年からはずっと、平成17年、毎回ずっと下がってますよね、続けて、連続。そして、28年においてもふえたり、まあ減ってきてます。

だからこの26年間を見ると、減ってきたのが21年間あったと。それとプラスの少しふえたのが、5年間あったということでですね、こういったところを連続して、最近ではかなり60万、50万ぐらいまでなってしまったということで、これ以上ふえたり減ったりというかたちに、今後はなっていくと思いますけれども。一昨年は日本ジオパークに認定されたということで、そういったところで、少し入洞者数がふえたんではないかと思われま。

それですね、今後、やっぱし黒字、単年度で目指すならば50万をきるものが、私は絶対にもう今後あってはならないということの思いがあります。

それで、今後、この観光振興におきましては、この50万をきらない。そのため
のさまざまなイベントをされておると思いますけれども、今後は50万以上にふやし
ていく。こういった目玉の政策というものは、今のイベントを含めて、こういったも
のがあるか、この辺について御説明願いたいと思います。

○委員長（秋枝秀稔君） 荒川観光総務課長。

○観光総務課長（荒川逸男君） 基金の残高につきましては、1億円でございます。

○委員長（秋枝秀稔君） 早田観光振興課長。

○観光振興課長（早田 忍君） 岡山委員の御質問にお答えします。どのようなイベ
ントをして、集客を図るかということですが、秋吉台、秋芳洞につきましては、
本質的な美しさ、景観を持っており——美しい景観を持っておりますので、それ
を前面に押し出し、また、新たな取り組み、使える秋吉台を前面に押し出すようイ
ベント等を行えていけたらというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（秋枝秀稔君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 観光振興課のほうではいろいろ御足労の上で、いろいろと観
光振興、入洞者をふやすためのイベントを、かなり力強くされているということは理
解できます。

先日のJBCF、この実業団の自転車ロードレースにおいては、本当盛大に、ち
よっと雨でしたけれども、盛大に行われ、そのときには入洞も入館料も半額という特
典もあったわけでありまして、こういったところの宣伝が、皆さんよく理解してい
ない。なかなかその辺の市民の皆さん、市外の皆さんにお知らせするってことは難し
いところもあると思っておりますけど、もっともっと宣伝費といいますか、そういったと
ころを、今後どう上手にですね、基金も1億になったわけでございますけれども、もう
少しその辺を攻めのですね、イベントをたくさんされてるけど、まだまだわかんない
ところは、せっかくいいイベントがあつてですね、市内外の方に知らしめていく、その
辺の宣伝活動、広報活動、これについてのですね、取り組みというのは今以上に、こ
れから必要じゃないかと思っておりますけれども、なかなか恐ろしくてお金かけられ
んっちゃう部分もあると思っておりますけれども、この辺の捉え方についてはどのようなお
考えでしょうか、お尋ねします。

○委員長（秋枝秀稔君） 早田観光振興課長。

○観光振興課長（早田 忍君） 岡山委員の御質問にお答えします。観光のPRということでございますが。当然、市もPRを行ってまいりますが、観光協会がございしますので、観光協会あるいは県の観光連盟等と連携をしながらですね、PRを行っていったらというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（秋枝秀稔君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 非常に簡単なお答えでしたけれども。今回も台風が来なければ、村岡知事も今回このカルストロードレースに参加するということでありました。そういったところで、何とか日本ジオパーク認定されている秋吉台に、県がさまざまな面で支援策を行ってきているわけでございますから、もっともっとその辺のPRを強くしていただきたいなと思っております。

今後——それと最後に、基金につきまして、今後これからも、また来年、新年度、50万人をきらなければ、単年度収支を、黒字が見込まれるわけでございますけれども、今後、その基金の活用について、基本的なお考えがあれば、その点だけちょっとお尋ねしたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（秋枝秀稔君） 西田観光商工部長。

○観光商工部長（西田良平君） ただいまの基金の今後の活用ということでございます。

その前に、若干基金の関係の補足説明をさせていただきますと、平成26年度まで、委員言われましたように、赤字の部分がございまして、27年度で黒字化したことによってその差額分、約1億1,000万円ございました。その部分を平成28年度に繰り入れ、初めてここで基金が積み立てられるというかたちの流れになりますので、27年度を黒字分が28年度において、初めて基金を積み立てるという流れということで、まず、ございます。

それから、ちょっと先ほど冒頭の質問の中に、27年度よりも28年度の観光総務の支出が、ちょっと多くなっているという御質問ございましたが、これにつきましては、今の1億円を基金へ支出するというかたちの会計上のものになりますので、支出部分が通常よりも1億円多くなっているという関係で、支出が多くなったというところが一つございます。

それで、御質問のことですけれども、今後、やはり観光収入を維持することにより

まして、黒字を維持していかないといけないということは、我々の命題であるというふうを考えております。これを積み立てる一方で、やはり今後、今までできなかった施設整備、こちらのほうにつきまして、ある程度重点的に、その基金を一部取り崩したりとか、そういうこともしながら施設改修、あるいは整備ということをしていかなければならないというふうを考えております。

そこにおきましては、秋吉台地域のそういう施設整備計画なるものを今年度、もしくは来年度中に策定をいたしまして、それに沿って、そこには当然お金もかかることとございますので、その辺も勘案しながら、施設整備のほうへ基金を運用していきたいというふうを考えております。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） はい、岩本委員。

○委員（岩本明央君） 3つ目、約束が3つほど、3つ目ですが、これは要望でございます。

議会での約束が3つということですが、私、美東町にもおまして、土地の契約等、大変美東と秋芳さんとは差があったような記憶しております。

契約というのは例えば、1回で1年1年もありましようけど、大半が10年、15年、20年というのがあると思います。契約の時期が来たらぜひ、安い、時世に……時代にあったような契約にやり直してほしいということを要望いたします。希望いたします。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） わかりました。要望は意見のほうで、また、よろしく願いたいいたします。杉山副委員長どうぞ。

○副委員長（杉山武志君） 成果報告書の23ページに利用者、各三洞の入洞者数、利用者推移ということで表が上がっておるんですが。秋芳洞につきましては、20年前に比べると、半数以下の入洞者数になっておって、それを今、盛り返そうと一生懸命努力されておる話は、るる、お話を伺っておりますが、大正洞をですね、こちらにつきましては、10年前の半分、20年前の10分の1の入洞者数になっております。これについての原因ですとか、対策っていうのはお考えでしょうか。

○委員長（秋枝秀稔君） 早田観光振興課長。

○観光振興課長（早田 忍君） 杉山委員の御質問にお答えをします。大正洞、景清

洞につきましても、秋芳洞と同様にですね、イベント、また、本質的にもっているですね、景観等、前面に押し出しながらPRを行って、入洞の促進を図ってまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（秋枝秀稔君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 杉山副委員長の御質問にお答えしたいと思います。先ほど、岡山委員もおっしゃいました。対前年度比べることも非常に大事です。ただ、大きな流れとして50年スパン、20年スパン、10年スパンでですね、これだけ観光客数減っている要因は一体どこにあるのかということ进行分析するように、今取り組んでいるところでございます。

従いまして、短期的な対前年度比較したイベントにこだわらず、大きな、やっぱり観光地そのものの価値を高める努力が必要ではないかということで、今取り組んでいるところでございますので、その点申し添えさしていただきたいと思っております。

○委員長（秋枝秀稔君） はい、杉山副委員長どうぞ。

○副委員長（杉山武志君） 今、お話ありがとうございます。地元の方からもですね、その環境整備問題ですとか、そういったお話は耳にしておりますので、ぜひ、観光地にふさわしい環境づくり等、取り組んでいただけたらと思っております。よろしくお願ひします。

○委員長（秋枝秀稔君） その他ございましたらお願いいたします。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋枝秀稔君） それでは議案1件につきまして、市長に出席いただき質疑を行うことについて、委員の皆様の御意見をお伺いしたいと思います。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋枝秀稔君） それではないということで、それでは、これより議案の討論、採決に入ります。

議案第78号平成28年度美祢市観光事業特別会計決算の認定についての討論を行います。

本案に対する御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋枝秀稔君） それではこれより、議案第78号を採決いたします。本案について、原案のとおり認定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋枝秀稔君） 全員異議なしと認めます。

よって、議案第78号は原案のとおり認定されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。

その他、所管事項につきまして、委員の皆様から何かございましたら、御発言をお願いいたします。徳並委員。

○委員（徳並伍朗君） その他の所管事項であります。私もこのたび、一般質問をさせていただきます。

このたびの一般質問は、秋吉台上のことだけなんですね。まだ、第2弾、第3弾をやろうというふうに思っておりますが。

秋吉台上ではいろいろ問題があったということなんですが、まず、看板の問題です。これは、大正洞、景清洞、秋芳洞、いろいろと3つの三洞といいますか、カラーが違うと思うんですね。そのカラーをどのように使い分けで観光客をふやすかということも考えていただきたい。ただ、洞が3つありますよ、ではだめなんですよ。大正洞は、大正洞のいいすばらしさがあるだろうといふふうに、こう思っておりますし、景清洞もそれなりにあるというふうに思っております。

それからまた、看板なんですけどね。ただ看板を立てるということだけではなくて、看板というのは、歓迎の意を、まず表すこと。それから、来た人に感銘を受けるというか、今から入るのに、わくわくするような感銘を受けるということ。それから、最後には安心・安全で、気をつけて帰っていただきたいということ。それから、感謝の意を表するという。そういうのがやってあるか、ないかというのが、恐らくね、100%そのようにやってないんじゃないかなというふうに、どの洞も思うんですが。また、よっぽどやっぱり皆さんも考えです、それをやっていかないと。もちろん、一番多い韓国、台湾、中国、それから英語圏の人たち、そういう人たちによくわかるように。

そして、ただ、今私思っておるといふか、今まで見た中では、あんまり経験――す

ばらしいものがないような気がする。やはりもう一度、少し、わかりやすいような、先ほど言いましたようなものにしていただきたいというふうに思っておりますし、特に、一般質問しました秋芳洞の看板なんか特にですね、これが目玉なんですね、秋吉台の。秋吉台に来て、秋芳洞に入るということでもありますし、ですから、一般質問したことについては、早急にですね、これは国定公園ですから、勝手にいらいくいんですけれど、できる範囲でですね、皆さんに感激してもらうように。

また、秋吉台のいろんな楽しさ、あるいは珍しさというものを、やっぱり感激していただくような看板にさせていただきたいなど。これは要望ですから、もし何かコメントがあればどうぞ。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） 西田観光商工部長。

○観光商工部長（西田良平君） 御意見ありがとうございます。

徳並委員に言われましたとおり、三洞の特色、あるいはそれぞれのすばらしさ、そして、看板であるがゆえのわかりやすさ、もしくは、その中には歓迎、わくわく感、安心・安全と言ったような。もう一つは統一感といいますか、そういったようなところも含めて、美祢市に来られるお客様が、わかりやすい看板づくりということが、先ほど申しあげました全体の整備計画を立てようというふうに考えておりますので、そのひとつとして考えていくことにしております。

以上です。

○委員長（秋枝秀稔君） ほかにございましたら、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（秋枝秀稔君） ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査・御協力まことにありがとうございました。お疲れでございました。

午前10時18分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成29年9月25日

教育経済委員長